

【様式1】

※本書面は相手に開示されます。非開示を希望する情報は記載しないでください。

令和●●年（家イ）第●●●号

子の監護状況に関する陳述書 <記載例1>

記入日：令和○年○月△日

氏名： △△ ○○ 印

1 私の生活状況

(1) 生活歴

平成○年3月 BB中学校卒業
平成○年3月 A高校卒業
平成○年4月 B株式会社に入社
平成○年○月 B株式会社を退社
同年○月○日 相手方と婚姻。C県D市の借家で、相手方と生活
平成○年○月 E有限会社に入社
同年○月○日 子X出生
平成○年○月○日 相手方及び子と共に、Y市のマンションに転居
令和○年○月○日 相手方と別居。子と共に、Y市の賃貸アパートに転居

(2) 就労状況

勤務先 有限会社E（Y市所在）
仕事内容 ○○の製造（工場勤務）
勤務状況 毎週月曜日から金曜日まで出勤する。勤務時間は、午前9時から午後5時までである。休日出勤はほとんどないが、月末は多忙であり、年に二、三回休日出勤する。残業は、月に2回程度あり、1回の残業時間は1時間ほどである。
自家用車で通勤。片道約30分

(3) 経済状況

ア 収入

給与収入 月収 ○○○, ○○○円

賞与 年間 ○○○, ○○○円

イ 負債

自動車ローン 月額 ○○, ○○○円 ボーナス時なし
残額 ○, ○○○, ○○○円

ウ 親族からの援助

経済的な援助はないが、子どもに必要な物（おもちゃ、文房具など）を買ってもらうことがある。

(4) 心身の状況

高血圧のため毎月1回H医院（内科）に通院し、1日2回降圧剤を服用している。
不眠のため、平成○○年○月から毎月1回I病院（心療内科）に通院し、同年○月まで、睡眠薬及び安定剤を服用していた。症状が軽快したため、平成○○年○月から通院していない。それ以降、特に自覚症状はない。

(5) 家庭の状況

ア 一日のスケジュール

【平日】

- 6:45 申立人が起床する。
- 7:30 申立人が子を起こし、一緒に朝食をとる（メニューはおにぎり、パンなど）。
- 8:10 子と保育園に向かう。
- 9:00 出勤
- 17:00 退社
- 17:50 保育園に子を迎えに行く。
- 18:10 帰宅。子の相手をしながら夕食を作る。
- 19:00 子と一緒に夕食をとる。夕食後、子と遊ぶ。
- 20:00 子と一緒に入浴する。
- 21:00 子を寝かしつける。
- 22:00 洗濯等を済ませて就寝する。

【休日】

- 8:00 申立人が起床し、子を起こす。
- 8:30 子と一緒に朝食をとる。
- 9:00 洗濯や掃除などをする。子と遊ぶ。
- 12:00 子と一緒に昼食をとる（外食することもある。）。
- 13:30 子と一緒に近くの公園に遊びに行ったり、買物に行ったりする。
- 16:00 帰宅する。
- 18:30 子と一緒に夕食をとる。
- 19:30 子と一緒に入浴する。
- 21:00 子を寝かしつける。
- 22:00 就寝する。

イ 住居の状況

賃貸アパートに入居しており、家賃は月額〇万円である。間取りは2DKで、甲第〇号証（間取り図）のとおり。間取り図の洋室1を子ども部屋として使い、洋室2を申立人と子の寝室として使っている。

(6) 同居家族とその状況

子 △△X(4) 平成〇年〇月〇日生 保育園児

2 面会交流の実情

毎月1回、日曜日の午前10時から午後3時まで面会交流を行っている。これは、相手方から電話で面会交流の要望があり、何度か電話で話して決めたものである。面会のときは、相手方が、申立人宅に子を送迎している。申立人は、面会には同席していない。子は、会ったときの様子を話してくれる。

3 子の監護方針

(1) 今後の監護方針

引き続き現在の住居に住み、申立人の母及び妹の補助を受けながら、監護を続ける予定である。現在の監護態勢から変わる予定はない。

規則正しい生活習慣を身につけさせる。自分のことは自分でできるように育てる。

- (2) 監護補助者（今後子の養育を援助してくれる人）の状況
- ・母 ○○花子(60) 昭和○○年○月○日生 パート
 心臓病により、平成○○年○月から1か月間入院した。現在も月1回通院、服薬している。
 申立人の仕事が忙しい時に、保育園に迎えに行ってもらっている。
 - ・妹 ○○美幸(25) 平成○○年○月○日生 アルバイト
 健康状態に問題はない。
 週末に、申立人と一緒に子を連れて遊びに出掛けたり、子の遊び相手をする。
- (3) 親権者（監護者）となった場合の、相手と子の交流についての考え
これまでどおり、毎月1回、相手方と子が交流することは構わない。
- (4) 相手が子を監護することになった場合に心配なこと
相手方は仕事が忙しく、子の世話が十分にできない可能性がある。

4 子の状況（未成年者 **X** について）

(1) 成育歴や監護の実情

ア 成育歴

平成○年○月○日 子X出生（体重は**2950g**）。C県D市の借家で申立人、相手方と生活

平成○年○月○日 Y市の相手方名義のマンションに転居。相手方及び申立人と生活

令和○年○月○日 私立○○幼稚園に入園
 幼稚園は、1回風邪で休んだが、それ以外は全部出席した。

令和○年○月○日 申立人と共に、Y市の賃貸アパートに転居。Y市立F保育園に転園
 保育園もすぐに慣れて、休みなく通っている。園からは、元気に過ごしており特に問題はない、と聞いている。

保育園名	Y市立F保育園
所在地	Y市○○1-1-1
電話	059-○○○-○○○○

イ 監護の実情

【同居中】

申立人が、授乳、おむつ換え、寝かしつけ、健診や病院の受診、幼稚園への送迎や行事参加など、ほとんど全てを行った。ただ、相手方は、仕事から帰宅後、時々子を風呂に入れてくれていた。また、幼稚園の行事のうち、運動会と父親参観には相手方も参加した。

【別居後】

日常的には申立人が保育園の送迎や身の世話をしている。

母は、申立人宅から徒歩5分の場所に住んでおり、申立人が仕事の都合で保育園の迎えに行けないときは、申立人の代わりに迎えに行き、夕食の用意をする。母が保育園の迎えに行くことは、月に三、四回ある。

(2) 心身の状況

ア 身長：〇〇〇センチメートル，体重：〇〇キログラム（〇月〇日現在）

イ 健康状態，病歴

出生後数日して黄だんが出たが，治療を要せずすぐ治まった。

3歳頃にアトピー性皮膚炎の診断を受けた。以後，定期的に通院しており，現在は月2回通院し，内服薬と塗り薬を処方されている。腕や脚の関節部分に症状が見られるが，それ以外は目立つ症状はない。アレルギー検査の結果は甲第〇号証を参照

アトピー性皮膚炎のほかは，目立った病歴はない。

予防接種は，これまでのところすべて接種済みである。（甲第〇号証参照）

ウ 発育状況

生後3～4か月で首がすわり，1歳で歩行ができた。おむつは，3歳頃にほぼ外れ，4歳では完全に外れた。トイレに自分で行って，一人で用を足すことができる。おねしょも，ほとんどない。言葉は1歳半頃から「パパ」，「ママ」などの発語が見られ，3歳頃から急激に語彙が増え，現在はかなりやりとりができる。服の着脱も自分で行える。これまで発育は順調で，これといった問題はない。

(3) 子の性格，行動傾向

ア 性格

明るく，人見知りもしない。

イ 習い事

スイミング（〇，〇，〇曜日の〇時から〇時）

サッカー（〇曜日の〇時から〇時）

ウ 好きな遊び

サッカー，ボール遊び

(4) 一日のスケジュール（お子さんと同居している親のみが記入）

ア 平日

	時刻	備考
起床	7：00 頃	起こす人は 申立人
朝食	7：30 頃	一緒に食事をする人は 申立人
登校・登園	8：10 頃	幼稚園等に送っていくのは 申立人
昼食（家にいる場合）	:	一緒に食事をする人は
下校・降園	17：50 頃	保育園に迎えに行くのは 申立人または申立人の母
夕食	18：30 頃	一緒に食事をする人は 申立人
就寝	21：00 頃	寝かしつけるのは 申立人

イ 休日

	時 刻	備 考
起床	8 : 00 頃	起こす人は 申立人
朝食	8 : 30 頃	一緒に食事をする人は 申立人
	9 : 30 頃	申立人と一緒に遊ぶ。
昼食（家に居る場合）	12 : 00 頃	一緒に食事をする人は 申立人
	13 : 30 頃	申立人と一緒に公園等で遊ぶ。
夕食	18 : 30 頃	一緒に食事をする人は 申立人
就寝	21 : 00 頃	寝かしつけるのは 申立人

(5) 父母の紛争に対する子の認識

申立人と相手方がうまくいっていないことは何となく分かっているようだが、調停のことについては、理解できていないようである。